

E9 山陰道 三隅・益田道路【延長 15.2km】
(石見三隅 IC～遠田 IC 間)

令和8年3月28日(土)に開通します

○山陰道 三隅・益田道路(石見三隅IC～遠田IC)(延長15.2km)は、**令和8年3月28日(土)に開通**することになりましたので、お知らせいたします。

○なお、鎌手IC周辺において、想定を上回る量の硬い岩盤が出現し、掘削に時間を要したことから、本路線の整備による周辺地域への効果を早期に発現させるため、本線部のみ先行して開通する形態に見直すこととし、**鎌手ICの完成は「令和8年夏」の予定**となりました。遠田IC付近の完成時期については、進捗状況を踏まえ改めてお知らせします。

○また、今回新たに設けるインターチェンジ(IC)の名称が正式に決定しましたのでお知らせします。

■開通により期待される効果

- ①浜田市役所～益田市役所間が山陰道を利用することで**約10分短縮!**
- ②速達性・定時性・走行安定性が向上し、**地域産業が活性化!**
- ③空港や港から観光地へのアクセスが向上し、**観光周遊を促進!**
- ④安定した走行により**CO2の排出量を削減!**
- ⑤信号交差点や急カーブ・急勾配を回避し、**死傷事故の減少に期待!**
- ⑥災害や異常気象発生時の代替路が確保され、**安全性・信頼性の向上!**
- ⑦救急搬送の時間短縮・揺れの減少により、**患者への負担軽減に期待!**

■インターチェンジ(IC)名称

決定したインターチェンジ(IC)名称	所在地	これまで使用していたインターチェンジ(IC)名称(仮称)
おかみ 岡見	しまね はまだ みすみちよう 島根県浜田市三隅町	おかみ 岡見
かまて 鎌手	しまね ますだ にしひらばらちよう 島根県益田市西平原町	かまて 鎌手

※開通式及び通行可能時間については、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

＜お問い合わせ先＞ 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所
副所長(道路) 庄司 彰(しょうじ あきら)
(担 当) 工 務 課 長 守川 倫(もりかわ おさむ)
調査設計課長 難波 誠(なんば まこと)

TEL 0855-22-3129(調査設計課 直通)

URL <https://www.cgr.ml.it.go.jp/hamada/>

浜田河川国道事務所では、X(エックス)による情報発信を行っています。

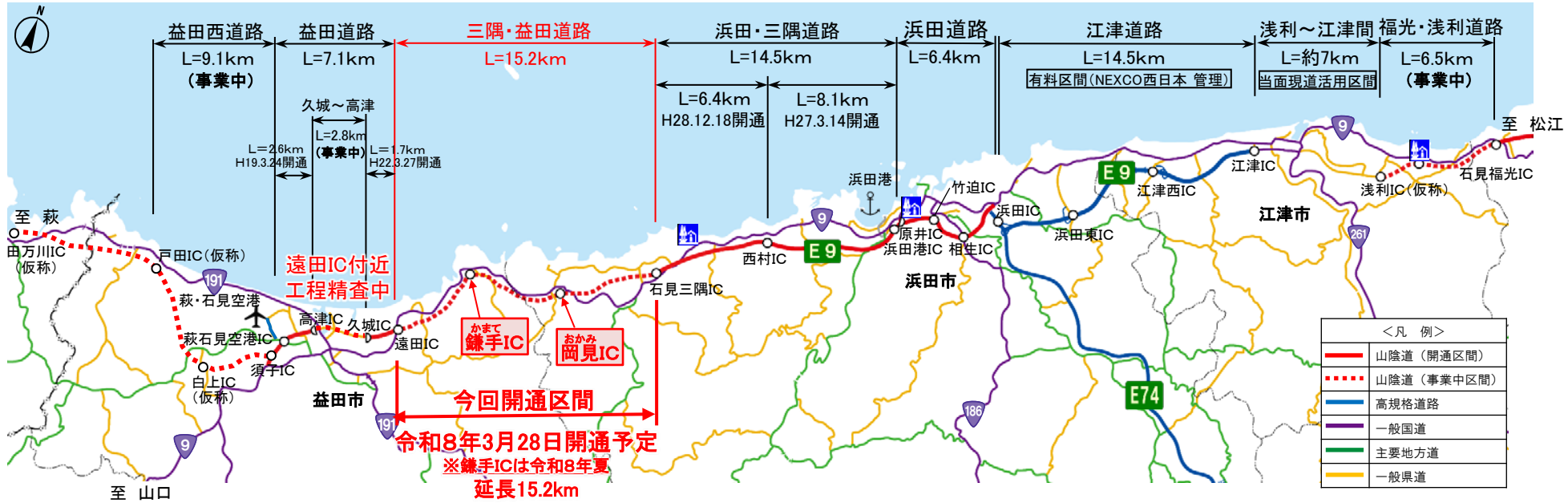
浜田河川国道事務所X: https://x.com/mlit_hamada



山陰道 三隅・益田道路の概要

○山陰道 三隅・益田道路は、緊急輸送道路の確保、第三次救急医療機関へのアクセス向上、広域観光ルート形成を目的とした延長15.2kmの事業であり、**令和8年3月28日(土)**に開通します。

計画概要図



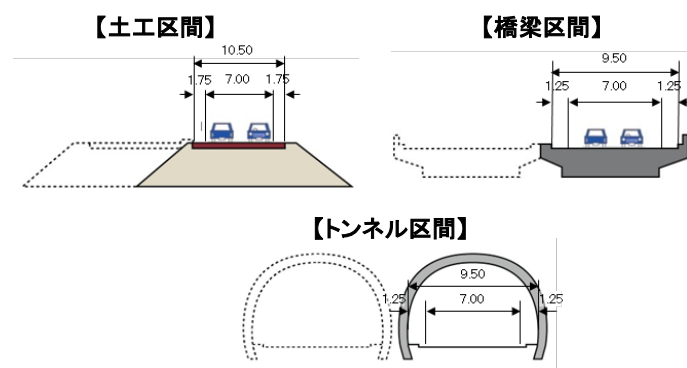
事業概要

起 終 点	起点：島根県浜田市三隅町 終点：島根県益田市遠田町
計 画 延 長	15.2km
道 路 規 格	第1種第3級
設 計 速 度	80km/h
車 線 数	暫定2車線

【インターチェンジ(IC)名称]	
決定名称	所在地
おかみ岡見IC	はまだみすみちよう浜田市三隅町
かまて鎌手IC	ますだにしひらばちよう益田市西平原町



標準断面図



山陰道 三隅・益田道路の概要



R7.2.7記者発表資料

湧水・法面亀裂発生箇所
【遠田IC付近工程精査中】

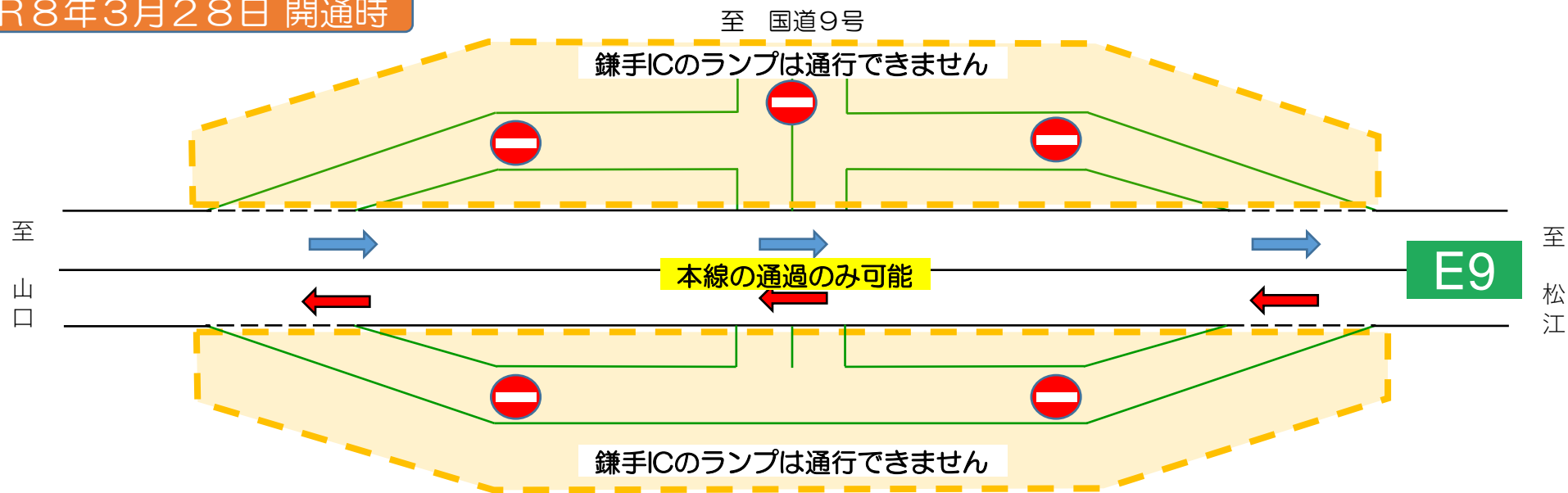
<凡 例>

—	山陰道 (開通区間)
---	山陰道 (事業中区間)
—	一般国道 (直轄)
—	主要地方道
—	一般県道

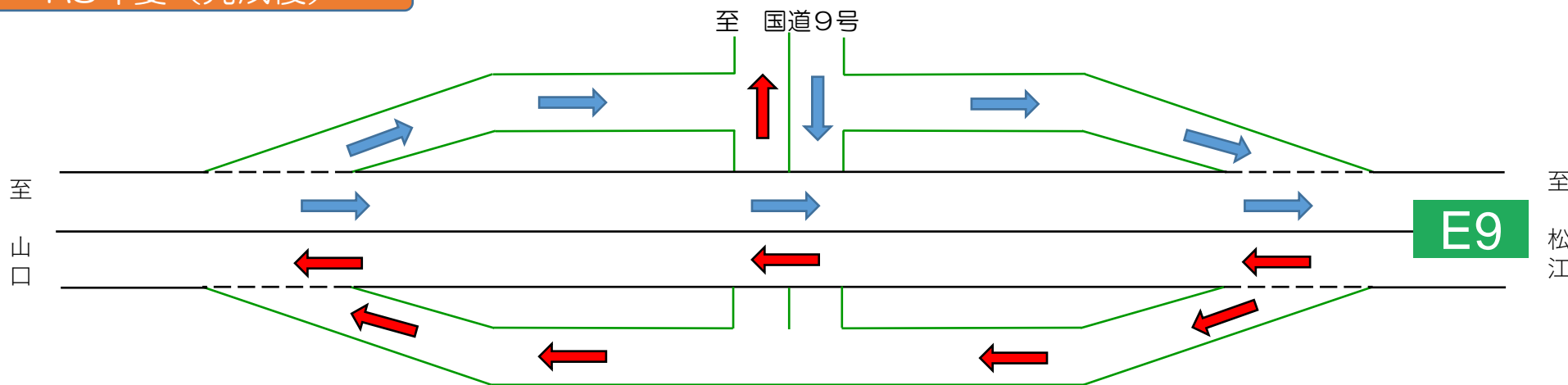


鎌手ICの供用形態について

R8年3月28日 開通時

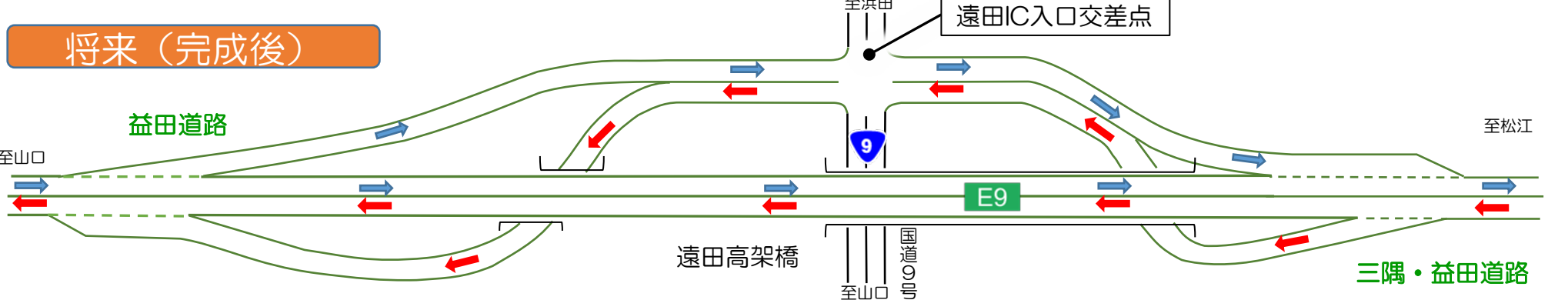
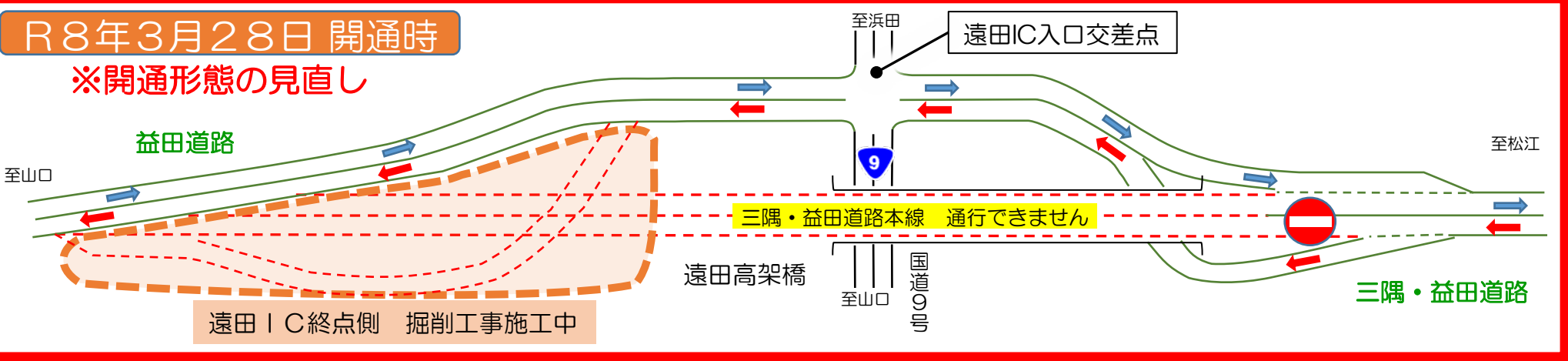
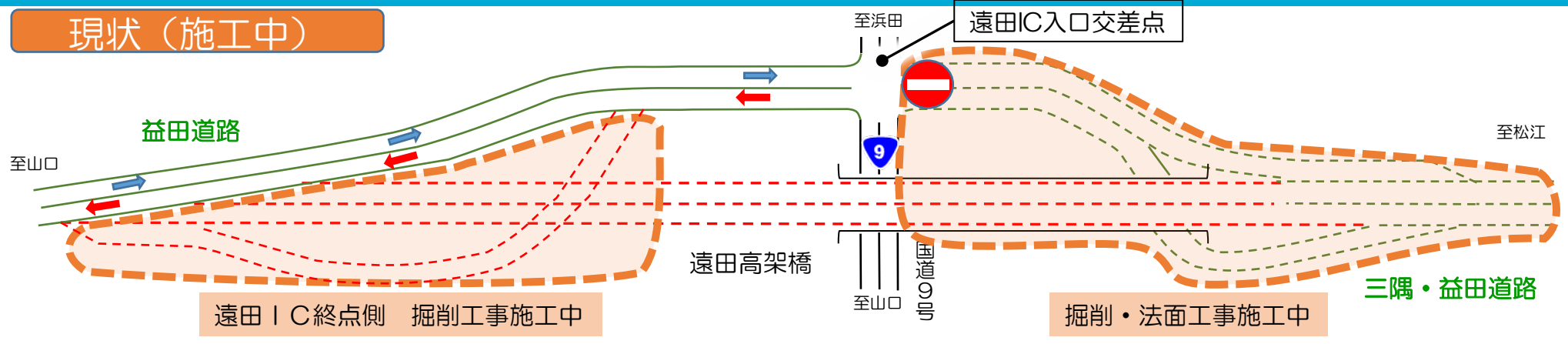


R8年夏（完成後）



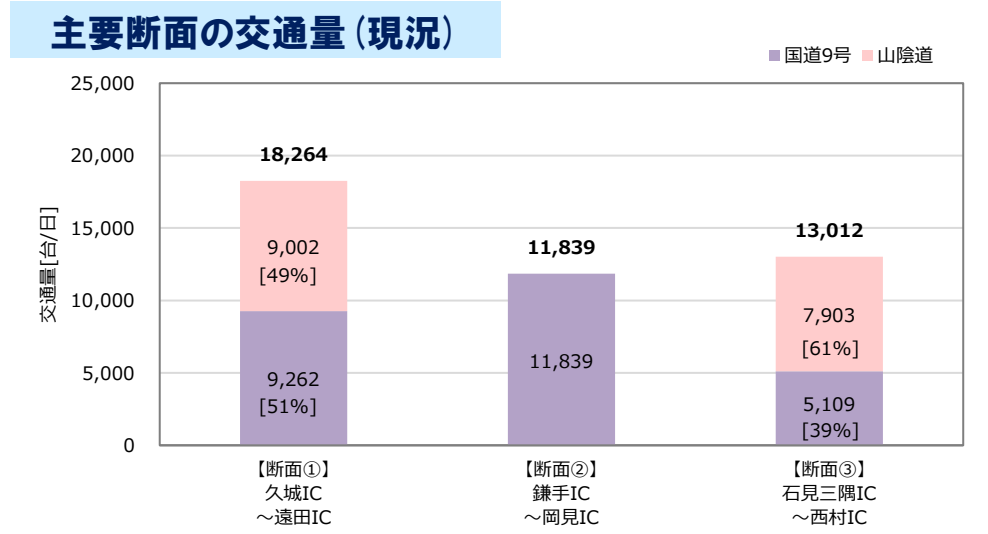
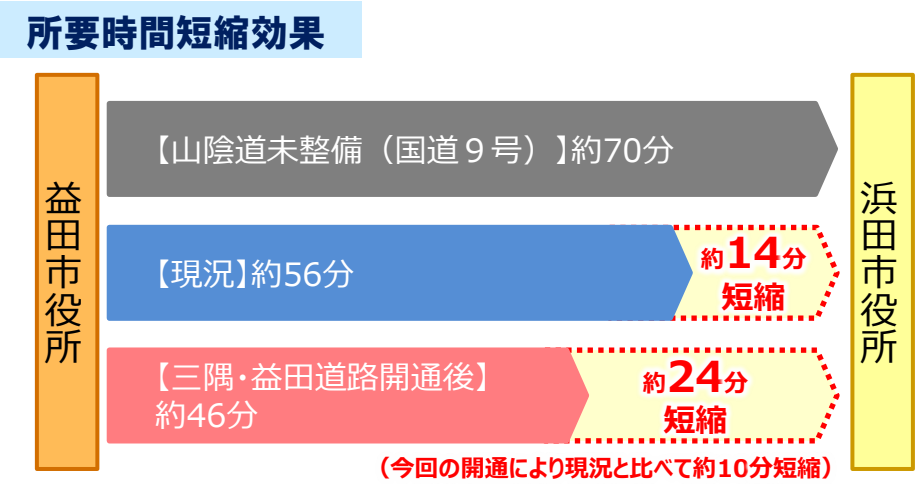
【参考】遠田IC付近の供用形態について

R7.2.7記者発表を加工



主要都市間の所要時間短縮

○島根県西部では、主要都市（益田市～浜田市）の移動に時間を要しています。
山陰道（三隅・益田道路）の整備により、益田市役所～浜田市役所の移動時間は約10分短縮される見込みです。
○三隅・益田道路の前後区間では約4～6割が山陰道を利用しており、三隅・益田道路も多くの転換が見込まれ、産業や観光等への効果が期待されます。



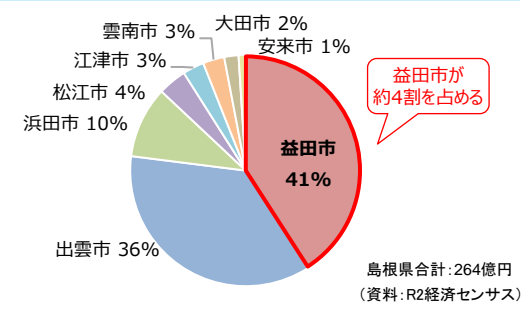
資料：全国道路・街路交通情勢調査 混雑時旅行速度 上下平均 市道は20km/hとして算出
 【山陰道未整備】H22全国道路・街路交通情勢、全線を国道9号利用として算出
 【現況および三隅・益田道路開通後】R3全国道路・街路交通情勢調査 三隅・益田道路は70km/hとして算出

地域を支える主な産業の活性化

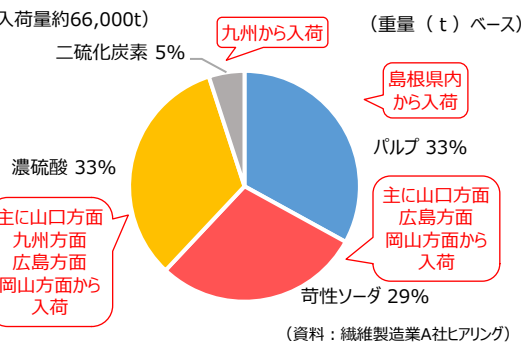
- 山陰道沿線では、木材伐採からチップ製造、パルプ製造、繊維製造までを域内の主要企業間で行っています。
- 山陰道(三隅・益田道路)の整備により、地域間の速達性や定時性が向上することで、地域を支える主な産業間の繋がりが強化され、沿線地域の生産性の向上が期待されます。



島根県における繊維製品の製造品出荷額割合



繊維製造業A社の主要原材料の入荷割合



＜企業の声＞

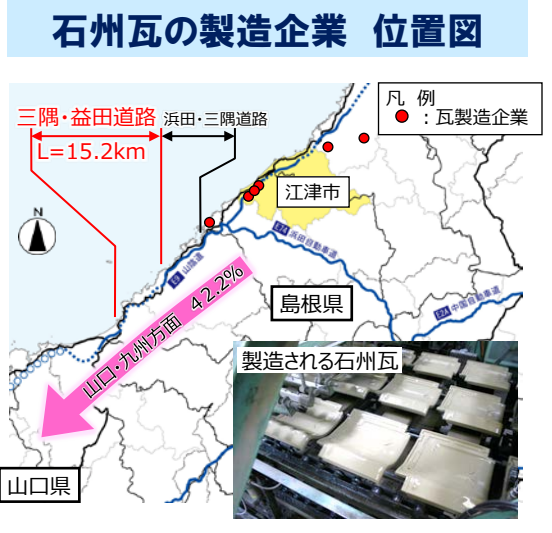
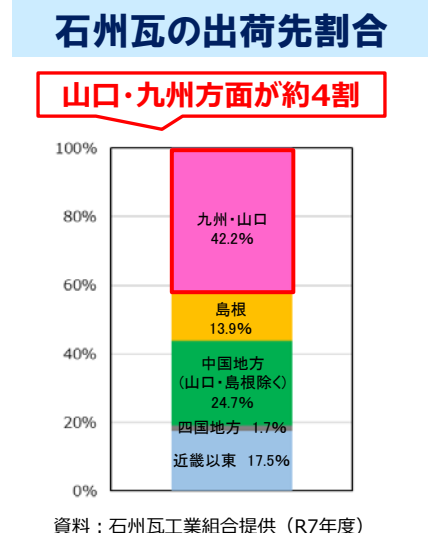
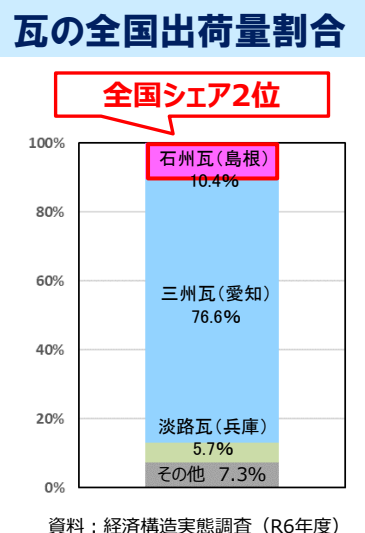
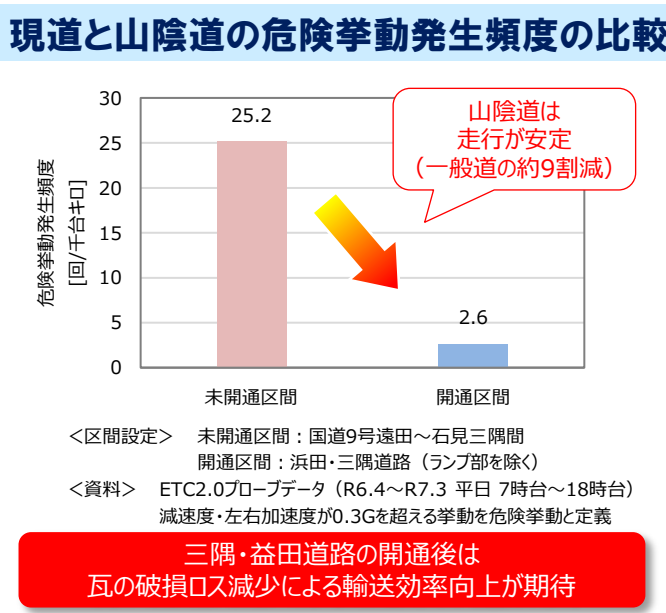
- ・当社は国内唯一のレーヨン繊維製造工場です。近年生産量は増加していますが、今後も増加させていきたいです。
 - ・素材産業として原料の入荷など取引が多く、物流が活発です。
 - ・主要原料が予定通りに供給されることが、安定した生産活動には重要です。安定的な出荷により製造管理も容易になります。

(R7. 12 繊維製造業A社ヒアリング)
- ・木材出荷、パルプ生産、レーヨン繊維生産の一連の製造過程の中で山陰道が活用されています。
 - ・原木伐採が人材不足ですが、山陰道整備で輸送コストが削減できれば、設備投資に充てることも可能となり、事業の生産性が向上します。

(R7. 12 原木・チップ製造業者ヒアリング)

日本三大瓦・石州瓦の物流活動の支援

- 江津市では、日本三大瓦の一つである石州瓦が製造されており、出荷先は山口・九州方面が多くなっています。
- 国道9号での輸送は急カーブ・急勾配区間により、瓦の破損等の出荷ロスが発生しています。
- 三隅・益田道路の整備により、走行の安定化が図られ、出荷ロスの減少による輸送効率の向上が期待されます。




〈関係者の声〉

- ・製品の破損防止策として、緩衝材（クッション）を入れて梱包していますが、国道9号はカーブやアップダウンが多いため、瓦の破損等輸送時ロスが発生することがあります。
- ・山陰道が繋がれば配送時間短縮になり、販路も広がると期待しています。
- ・また、走行性向上による製品の輸送時ロス率の減少に期待しています。
- ・時間短縮や安全性の向上によって運転手のストレス軽減につながると考えています。

（R7.12 石州瓦工業組合ヒアリング）


 観光立国の推進

 国土を整え、全力で備える
 国土交通省中国地方整備局
 浜田河川国道事務所

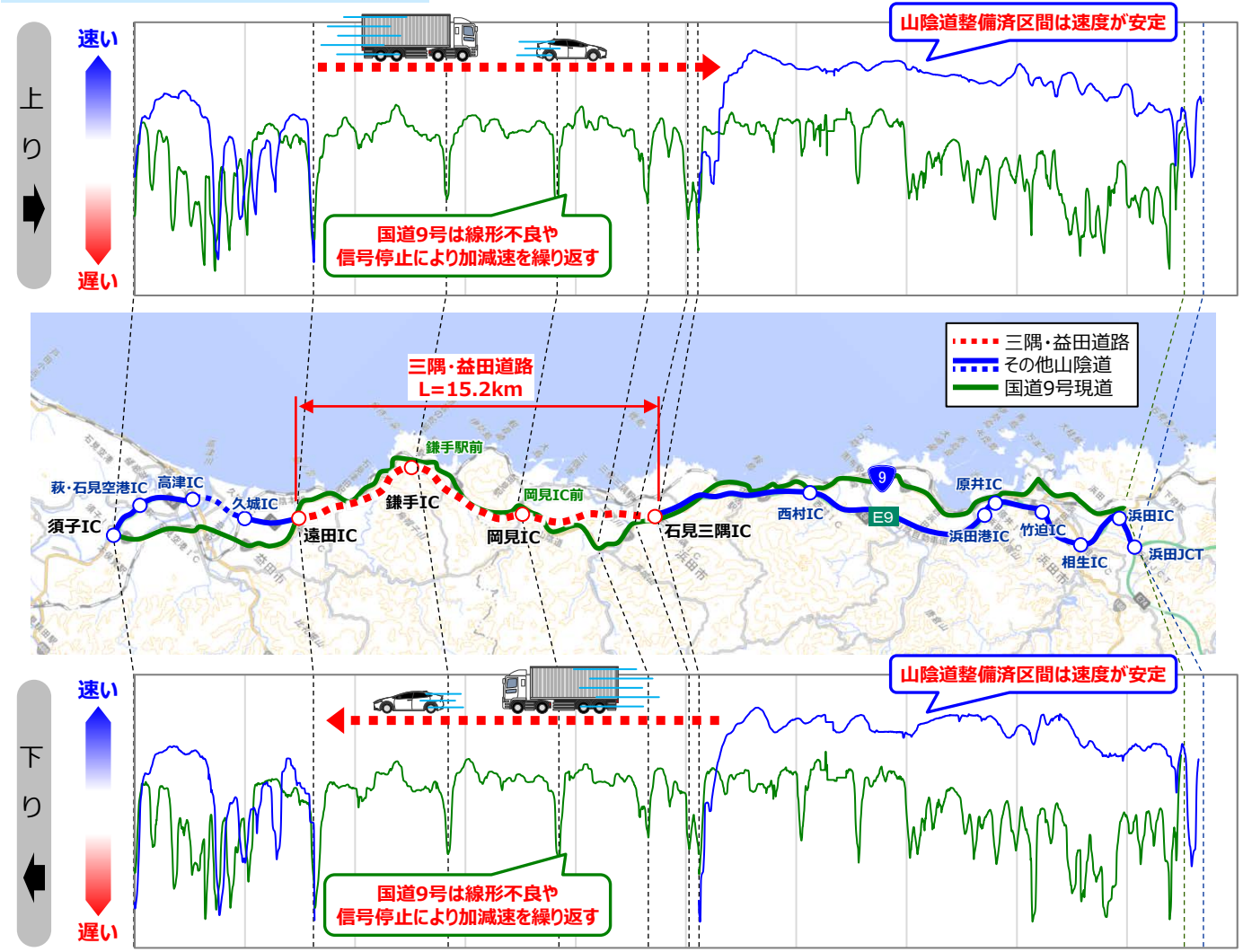
- ・観光ツアーはクルーズ船の出航までに港に戻る必要があるため、**移動時間の長さ**が課題となっています。
 - ・津和野方面へのツアーは人気があるため、**山陰道整備により、ツアー時間の余裕が増えることを期待**しています。
- 



低炭素社会の実現

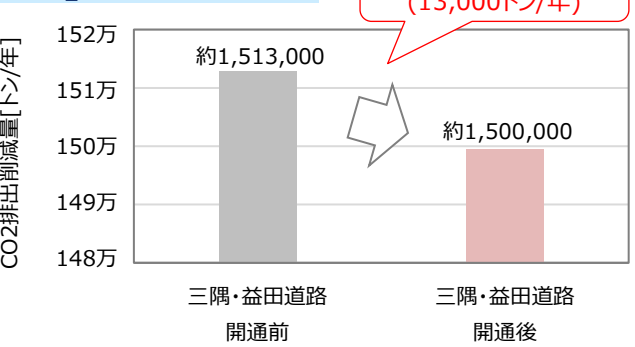
- 三隅・益田道路に並行する国道9号は、信号交差点や線形不良箇所が点在しているため、速度が低いほか車両の加減速が繰り返されており、CO₂の排出量が多い状態となっています。
- 三隅・益田道路の開通によって、山陰道への交通転換や、速度向上によるCO₂排出量の削減効果が期待されます。

山陰道・国道9号の旅行速度

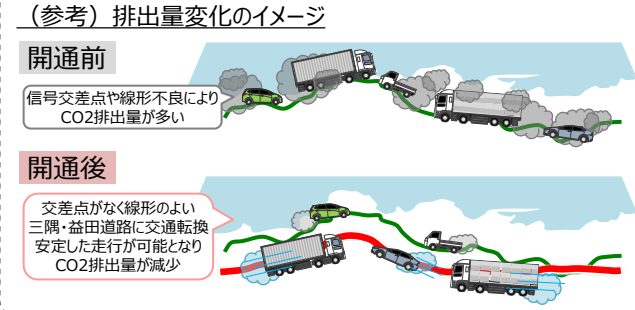
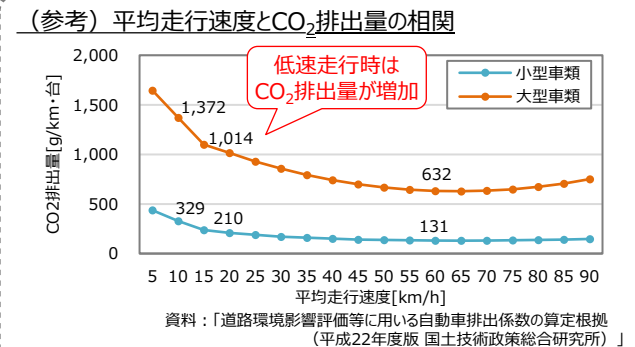


資料：ETC2.0プローブデータ R6.10平日 昼間12時間平均速度

CO₂排出量の変化



「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠 (平成22年度版 国土技術政策総合研究所)」を基に、交通量推計結果を用いて試算

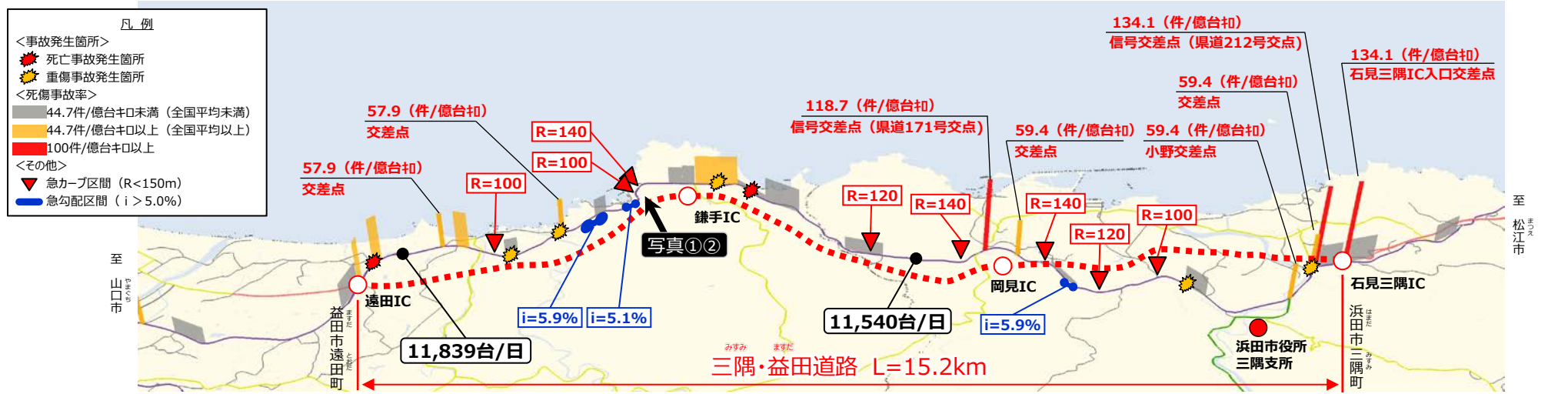


交通事故の減少

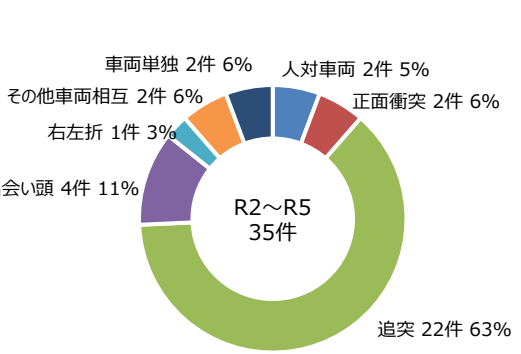
- 並行する国道9号には急カーブや急勾配など、道路構造に課題のある区間が存在しています。
- 速度低下や速度差などが原因と考えられる追突事故など、4年間に35件の事故が発生しており、死傷事故率が全国平均以上となる区間が多数存在し、死亡・重傷事故の発生割合も全国平均より高くなっています。
- 三隅・益田道路に交通が転換することによって、国道9号における死傷事故の減少が期待されます。

並行する国道9号の急カーブ・急勾配区間及び重大事故の発生箇所

〔資料：死傷事故率(区間別)：交通事故総合データベース(R2-R5)
死傷事故率の全国平均値：交通統計 (R5・44.7件/億台キロ)
交通量：R3年度全国道路・街路交通情勢調査〕

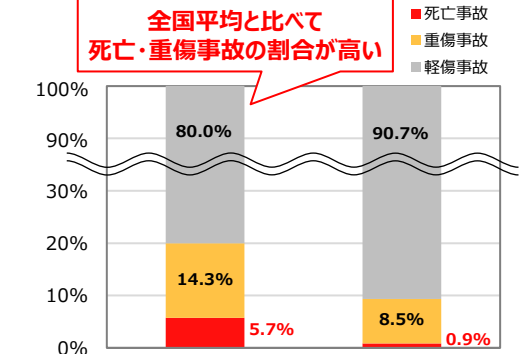


並行する国道9号の事故類型



資料：ITARDA(R2-R5)

死亡・重傷事故の発生割合



資料：ITARDA(R2-R5)

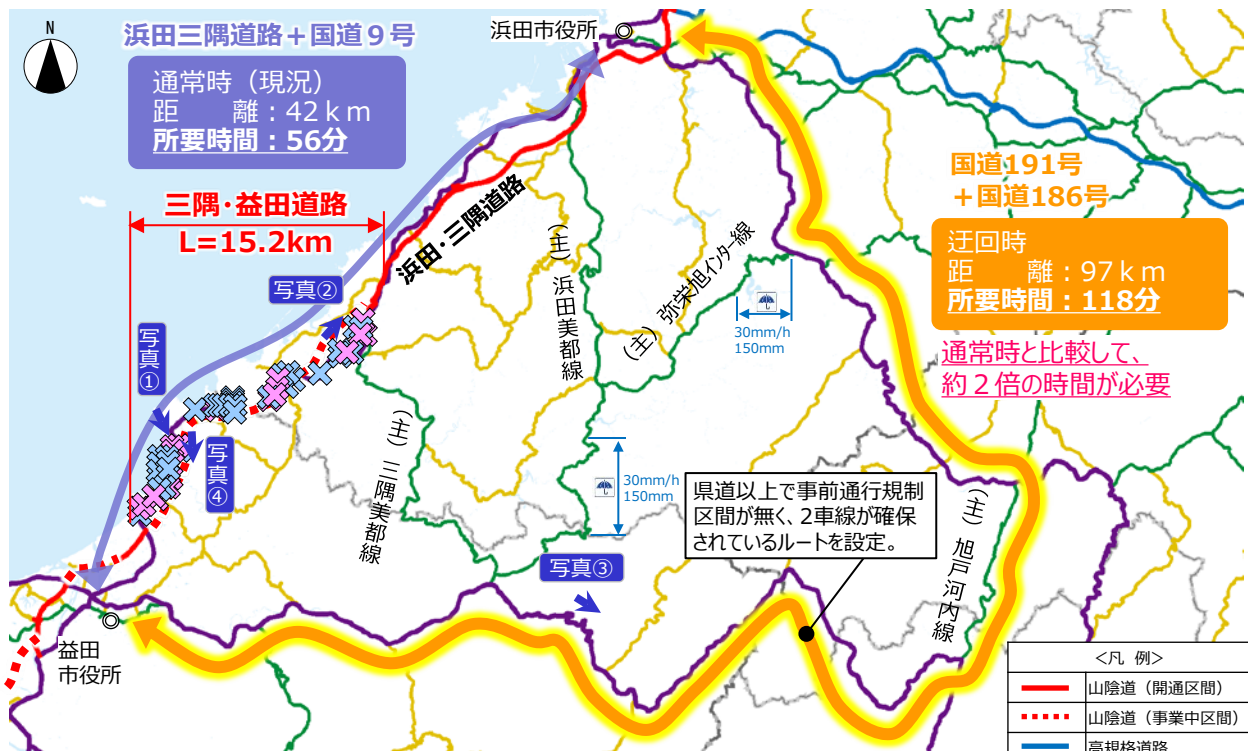


通行規制発生時の代替路確保

○並行する国道9号では全面通行止め等の通行規制が年間平均2回発生しており、通行止めが発生した場合、周辺の道路は狭幅員区間が多いため、大きな迂回を強いられることとなり、生活や物流活動に大きな支障をきたしています。

○三隅・益田道路の整備により、災害や異常気象時の代替路が確保され、道路の安全性・信頼性が向上します。

通行止め発生時の迂回路



<凡 例>	
—	山陰道（開通区間）
---	山陰道（事業中区間）
—	高規格道路
—	一般国道
—	主要地方道
—	一般県道
—	迂回ルート
X	全面通行止め発生箇所（H18～R6）
X	片側通行規制発生箇所（H18～R6）
2車線	—
1車線	—
通行規制区間 （規制基準：時間雨量 連続雨量）	—

並行する国道9号の通行規制実績（H18～R4）

発生年度	全面通行止め		片側交互通行	
	件数	規制時間(h:m)	件数	規制時間(h:m)
H18	1	0:13	—	—
H19	1	0:18	3	7:15
H20	2	3:21	—	—
H21	—	—	4	917:35
H22	—	—	—	—
H23	1	0:26	2	1:20
H24	1	1:16	7	10:48
H25	1	0:33	1	0:35
H26	1	1:00	2	0:30
H27	2	1:53	3	4:59
H28	—	—	4	31:47
H29	7	7:41	8	22:57
H30	—	—	2	5:32
R1	—	—	—	—
R2	1	0:27	4	3:40
R3	—	—	—	—
R4	—	—	2	0:34
R5	—	—	—	—
R6	—	—	—	—
R7	—	—	—	—
合計	18	17:08	42	1007:32
平均	0.9	0:51	2.1	50:22

年間平均2回の通行規制が発生

※事故・災害による通行規制を対象とする。
片側交互通行規制42回のうち11回は全面通行止めから移行

平成21年7月21日の豪雨※では、
益田市木部町大浜付近で発生した
のり枠変状、擁壁変状時に伴う片
側交互通行規制の影響で、益田側
では最大800mの渋滞が発生。

片側交互通行規制
39日間
7/21～8/28

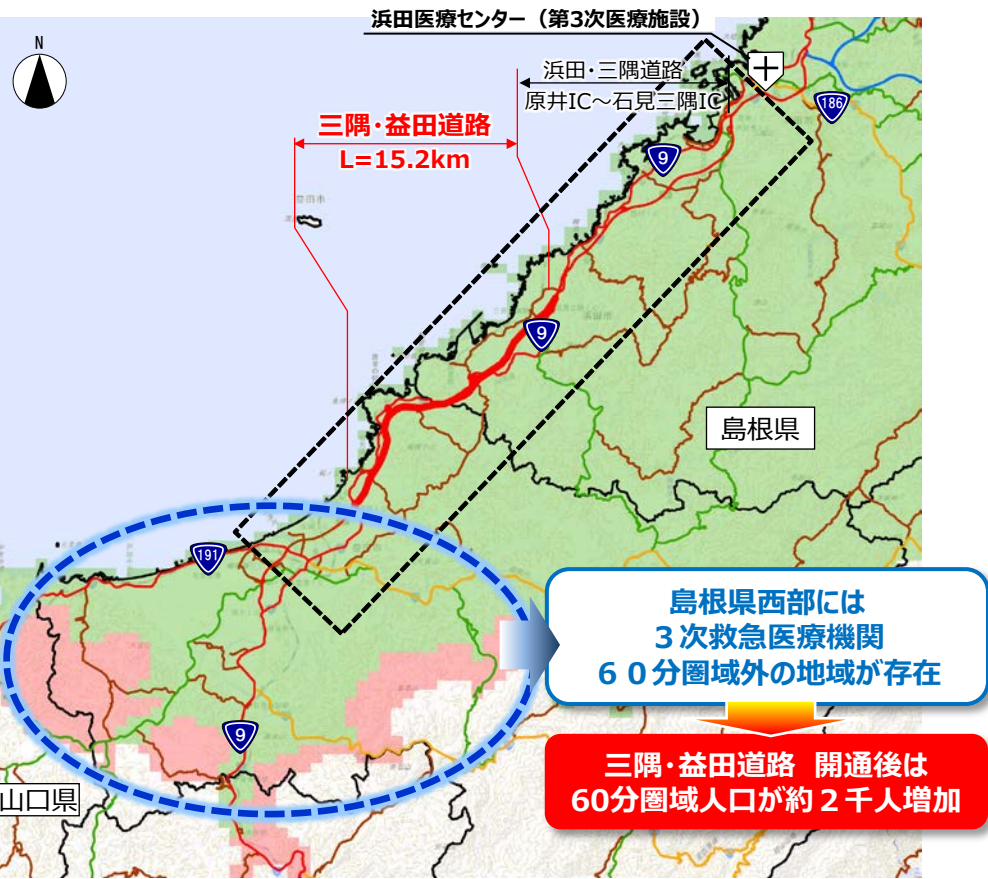
※平成21年7月中国・九州北部豪雨



搬送時間短縮・走行性向上による患者の負担軽減

- 島根県西部には、3次救急医療機関(浜田医療センター)に60分で到達できない地域が存在しています。
- 三隅・益田道路の整備により、搬送時間の短縮や搬送時の横揺れの減少など、患者の負担軽減が期待されます。

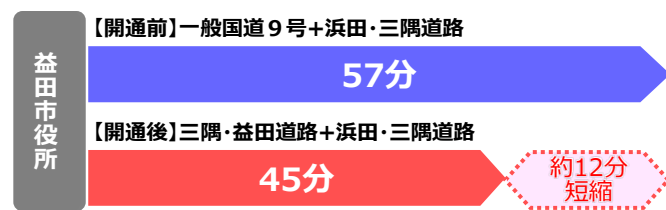
三隅・益田道路開通前後の浜田医療センター60分到達圏



■ : 三隅・益田道路 開通前 ■ : 三隅・益田道路 開通後に加わる地域
 ≪道路条件≫ 開通前 : 現況道路網 開通後 : 現況 + 三隅・益田道路が開通
 ≪速度条件≫ R3年度全国道路・街路交通情勢調査規制速度
 三隅・益田道路、浜田・三隅道路 (原井IC～石見三隅IC) : 70km/h

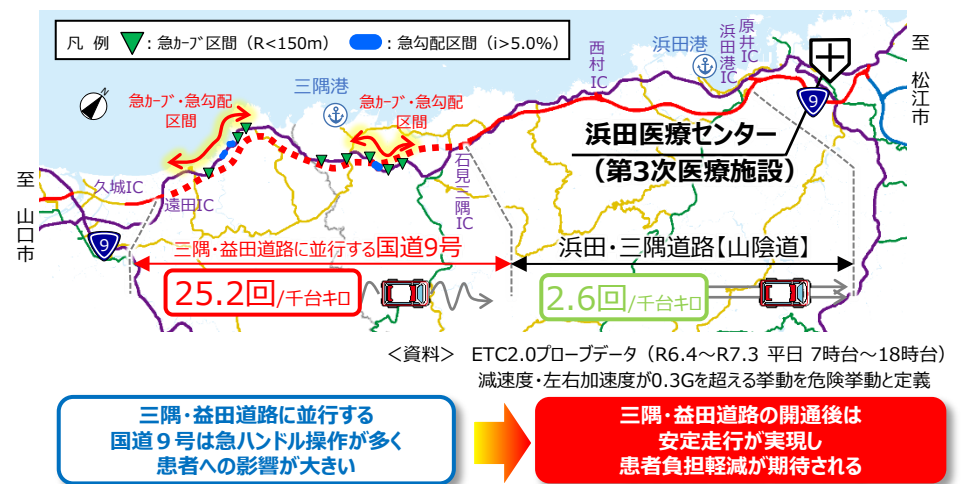
※圏域人口は益田市と津和野町で算出
 (資料 : 令和2年国勢調査メッシュデータ)

三隅・益田道路開通前後の所要時間



資料 :
 令和3年度 全国道路
 ・街路交通情勢調査
 混雑時旅行速度
 (益田→浜田向き)
 ・三隅・益田道路は70km/h
 市道は20km/hとして算出

現道と山陰道の危険挙動発生回数の比較



〈関係者の声〉

- ・現在、遠田IC～石見三隅IC間は国道9号を走行。路面状態が悪く道路幅も狭いため、段差等がある場所やカーブの多い場所では、**患者への負担を考慮し速度を落として走行**している。そのため、病院への搬送に時間を要している。
- ・三隅・益田道路が開通することで、**事故や災害時の代替道路として機能し**、三次救急医療機関への**搬送時間の短縮、走行性の改善**により、**患者への負担が軽減され、安全性も確保される**。(R7.12 益田広域消防本部ヒアリング結果)

